

授業科目(ナンバリング)	観光経済論 (CA202)			担当教員	城前 奈美		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
観光現象が社会にどのような影響を与えるのか、経済学的に分析する手法を学ぶ。そして、観光ビジネス戦略や観光政策・施策を打ち出すための裏付けとなる指標を示すことができるようになる。具体的には、各種経済統計から、観光に関する統計にどのようなものがあるのかを知り、さらに、観光の経済効果を分析する手法を理解し、活用できるようになる。							⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	観光の特長や、観光の社会経済への影響を理解できる。 観光ビジネス戦略や観光政策・施策をどのように打ち出したらよいか、その裏付けとなる指標を示すための分析手法を理解し、利用できる。				授業内小課題 定期試験	40% 20%	
情報収集、分析力	各種経済統計から、観光に関する統計を読み取ることができる。 観光の経済効果を分析できる。				定期試験	40%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
授業内小課題（40％）は、各回に行い、理解度の確認に役立てる。答え合わせやフィードバックは、翌週に行う。授業態度について、遅刻や他の受講者に迷惑をかけるような行為（私語など）により注意を受けた場合には、上述の評価点から減点する場合がある。							
授業の概要							
観光需要（＝観光者）と観光供給（＝観光事業者）からなる観光市場の分析について、第2～8回で学ぶ。これらの授業から、観光産業の特徴や、観光ビジネス戦略や観光政策を打ち出す上でのヒントを学ぶ。第10～12回で観光の経済効果を分析する手法を学ぶ。第13～14回で各種経済統計から、観光に関わる統計にどのようなものがあるのかを知り、各国統計を比較し、一国の時系列統計から推移を把握する。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分である。							
教科書・参考書							
教科書：特に指定しない。授業時に教員作成のテキストプリントを配布する。 参考書：①中崎茂『観光の経済学入門—観光・環境・交通と経済の関わり—』古今書院 ②ジェームズ・マック『観光経済学入門』日本評論社 ③A.ブル『旅行・観光の経済学』文化書房博文社 指定図書：ジェームズ・マック『観光経済学入門』日本評論社							
授業外における学修及び学生に期待すること							
経済学の基礎知識があることが望ましいが、ない場合には上記の参考書を予習・復習することによって補える。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	観光と経済の基礎概念について学ぶ。	参考書①p. 1-20 をあらかじめ読む。
2	観光市場分析（1）	観光者の心理特性について、所得弾力性と価格弾力性から理解する。	参考書①p. 21-30 を読む。
3	観光市場分析（2）	所得弾力性や価格弾力性を用いて、観光関連企業や政府・地方自治体が採る戦略や政策を導き出す。	参考書②p. 73-91 を読む。
4	観光市場分析（3）	需要関数を用いて、将来の観光需要を予測する。	参考書①p. 31-40 を読む。
5	観光市場分析（4）	観光投資の実行可能性や採算性を評価するフィージビリティ・スタディを理解する。	参考書① p. 153-164 、③ p. 308-330 を読む。
6	観光市場分析（5）	観光事業の追加投資がなされる上で、採算性があり利益を最大限に得られる案を評価する方法を学ぶ。	参考書①p. 153-164 を読む。
7	観光市場分析（6）	観光市場において、観光者や観光事業者等、観光市場に関わる人々の利益が最大になる方法を、近代経済理論を用いて学ぶ。	参考書②p. 158-179 を読む。
8	観光市場分析（7）	観光に関わる規制や自由化はどのような影響をもたらすのかを学び、観光政策のあり方を学ぶ。	参考書①p. 70-90 を読む。
9	環境と観光市場 観光と地域経済	持続可能な環境を維持し、観光振興するために、政府・地方自治体に取り組むべき課題について学ぶ。また、地方自治体が積極的に市場介入すべき点と、自由な競争市場に委ねる点に分けて理解する。	参考書① p. 190-215 、② p. 180-202 を読む。
10	観光の経済効果（1）	国民経済における観光収入の割合を各国別に比較してみよう。また、観光の経済効果を測るために、産業連関表、逆行列表の見方を学ぶ。	参考書② p. 125-140 、③ p. 173-192 を読む。
11	観光の経済効果（2）	産業連関分析を用いて観光の経済効果を算出する方法を学ぶ。また、日本における観光産業の経済効果を、他の産業と比較しながら把握する。	参考書① p. 140-152 を読む。
12	観光の経済効果（3）	長崎県の経済と観光動向を把握し、また、ハウステンボスの長崎県経済に与える効果を把握する。	配布する長崎県の経済統計や観光統計から、傾向をつかむ。
13	国際経済と観光（1）	国際収支の中で、国際観光収入や国際観光支出がどのように推移しているかを観察する方法を、他の貿易品と比較しながら学ぶ。また、日本経済の発展と国際観光の推移を理解する。	参考書① p. 166-189 、③ p. 246-260 を読む。
14	国際経済と観光（2）	開発途上国経済における観光の役割について理解し、東南アジア諸国の経験を事例に確認する。貿易政策としての観光政策を整理する。	参考書①p. 108-122 を読む。
15	全体のまとめ	観光経済学の潮流について、総括する。	15回の授業を振り返る。
16	定期試験	筆記試験を実施する。	筆記試験に向けた準備をする。